

「2025年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学校等」調査票 2024年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市・中核都市名	福島県		
高校入試 担当部署名	福島県教育庁高校教育課		
TEL	024-521-7772	FAX	024-521-7973
URL	https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/list603-1886.html		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	三田真理子 (所属:こおりやま日本語教室) 佐々木千賀子 (所属:蓬萊日本語教室)
--------	--

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)		なし		なし		なし						
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)		②定員外		②定員外		②定員外						

I 全日制高校について

		A. 外国人生徒	B. 中国・サハラ以南の国生徒	C. 海外帰国生徒
1. 2024年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有		
2-1. 2025年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		×	×	×
2-1の名称				
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2. 滞日年数制限				
2-3. 措置の内容				
2-4. 2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択				
3-1. 2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		外国人生徒等に係る特別枠選抜	外国人生徒等に係る特別枠選抜	外国人生徒等に係る特別枠選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2. 滞日年数制限		入国後の在日期間が6年以内 入国した日から令和7年2月1日 現在で6年が経過していない場合をいう	入国後の在日期間が6年以内 入国した日から令和7年2月1日 現在で6年が経過していない場合をいう	入国後の在日期間が6年以内 入国した日から令和7年2月1日 現在で6年が経過していない場合をいう
3-3. 入学枠のある学校数/全学校数		7/67	7/67	7/67
3-4. 学校名		福島北高等学校(総合学科) 福島南高等学校(国際文化科) あさか開成高等学校(国際科学科) 光南高等学校(総合学科) 会津学鳳高等学校(総合学科) いわき総合高等学校(総合学科) 相馬総合高等学校(総合学科)	福島北高等学校(総合学科) 福島南高等学校(国際文化科) あさか開成高等学校(国際科学科) 光南高等学校(総合学科) 会津学鳳高等学校(総合学科) いわき総合高等学校(総合学科) 相馬総合高等学校(総合学科)	福島北高等学校(総合学科) 福島南高等学校(国際文化科) あさか開成高等学校(国際科学科) 光南高等学校(総合学科) 会津学鳳高等学校(総合学科) いわき総合高等学校(総合学科) 相馬総合高等学校(総合学科)
3-5. 定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)	若干名 転入学許可の特別定員枠の 扱いに準じる。	若干名 転入学許可の特別定員枠の 扱いに準じる。	若干名 転入学許可の特別定員枠の 扱いに準じる。
3-6. 特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7. 試験内容		英語(又は自国語)又は日本語による作文と面接を実施する。 ただし、校長の判断により基礎学力検査を課することができる。	英語(又は自国語)又は日本語による作文と面接を実施する。 ただし、校長の判断により基礎学力検査を課することができる。	英語(又は自国語)又は日本語による作文と面接を実施する。 ただし、校長の判断により基礎学力検査を課することができる。
3-8. 2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有		
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		外国人生徒等に係る特別枠選抜における受験者数10名 合格者数5名 (A~Cの区別をした選抜ではないため、まとめて示しています。)		

II 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南の国生徒	F.海外帰国生徒
1.2024年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず
2-1.2025年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学者の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学者のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ 高校入学後の状況

1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	
上記に該当する実施校の校数等	7	
補足事項		
2-1.「1-2のA」において特別の教育課程での日本語授業を行っている?	いる	
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名	1校、いわき湯本	
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか? ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2024年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受験(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	把握せず	
5.2023年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	把握せず	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	日本国内の外国人学校の卒業生については、中学校卒業程度の認定試験に合格すれば受験可能と整理しているため
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のI II特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2024年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>福島市内のある私立高校では、「高等学校における日本語指導のための特別な教育課程」が作成されています。高校の先生や外部講師による取り出し方式による指導のほか、地域のボランティア教室とも連携し日本語指導が行われています。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>福島県国際交流協会 https://www.worldvillage.org/ ふくしま子どもの日本語ネットワーク(福島市) https://www.facebook.com/fukushima.konet/ 蓬莱日本語教室(福島市) https://www.facebook.com/horai.nihongo/ 福島移住女性支援ネットワーク(EIWAN)(福島市 白河市) http://gaikikyo.jp/shinsai/eiwan/ 子どもの日本語教室(二本松市) こおりやま日本語教室(郡山市) http://koriyama-nihongo.org いわき市国際交流協会 こどもの日本語 https://iia-fukushima.or.jp/kodomo/ 会津若松市国際交流協会 子ども日本語ひろば https://www.worldvillage.org/curr</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>こおりやま日本語教室 多言語高校進学ガイドブック (英語 中国語 タガログ語 韓国語 ポルトガル語 ベトナム語) http://koriyama-nihongo.org/guide/%e3%80%e3%82%a6%e3%83%b3%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%83%89/</p>
<p>5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。…などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。</p>	<p>昭和62年より帰国子女への配慮を実施。平成7年度入試からは外国人生徒等に係る特別枠選抜を実施。</p>
<p>6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>福島県内の子どもの日本語教室6団体の連名で特別枠入試の出願資格を来日3年以内から6年以内に緩和するよう要望書を提出しました。その後文部科学省は2024年度以降の公立高校の入試において、外国籍の生徒を対象とした特別枠の設定や、試験問題にルビをふるなどの配慮を進めるよう全国に通知しました。その結果、福島県では令和7年度入試より、特別枠入試の受験資格が来日3年以内から来日6年以内に緩和されることになりました。</p>